

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①学習した言葉の意味や内容、学習用語の定着。 ②学習した知識や技能を他の教科等の学習で活用したり関連づけたりする力。	③習得した知識をもとに、仲間と考えを共有し、自分の考えを持つ力。 ④自分の考えを自分の言葉で説明したり表現したりする力。	⑤目標や見通しをもち、学習に粘り強く取り組む力。 ⑥粘り強い取り組みの中で自らの学習を調整する力。 ⑦社会参画意識を持ち、自分の未来について考える力。



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	②、④	②情報の正しい取り扱い及び、得た情報を正しく表現する取り組み。 ④学習した内容について自分の言葉でまとめや振り返りをし、何を学んだか自分の言葉で表現する取組。	
社会	①、⑦	①重要な社会科用語を理解し習得する取組。 ⑦振り返りにおいて自己と社会をつなげ考えさせる取組。	
数学	①、④	①基礎・基本問題の繰り返し、用語について生徒が説明する機会を設ける取組。 ④説明したり表現したりする問題を扱い、解き方について発表・話し合い活動を行う取組。	
理科	①、④	①定期的に小テストを実施し、用語の定着を図る取組。 ④レポート記入、実技テストを実施し、学んだことを表現する活動を行う取組。	
外国語	④、⑥	④既習内容を発展させ、自分の考えや思いを自分の言葉で話したり書いたりする取組。 ⑥わからない単語があっても推測して読み進める取組や新出語句や文法の使い方などを自分で調べたり練習したりして定着させる取組。	
音楽	①、③	①歌唱や奏法などを理解し習得する取組。 ③個人で感じたり気付いたことを仲間と共有し合い、理解する取組。	
美術	④、⑤	④アイデアスケッチをしたり、鑑賞カードに自他の作品のよさを言葉で説明したりする取組。 ⑤目標や振り返りを記入する学習プリントを使用し、主体	

		的に作品を制作する取組。	
技術	②、⑦	②理科との関連（物質の状態変化と金属加工、音の伝わり方とマイクの仕組み等）を意識した授業を行う取組。 ⑦SDGsを関連づけながら4つの内容（A材料と加工の技術、B生物育成の技術、Cエネルギー変換の技術、D情報の技術）において授業を行い、常に「未来の自分達にできること」を意識した授業を行う取組。	
家庭	④、⑤	③学習した知識や技能を振り返り、自分の考えを言葉で説明したり表現できる取組。 ⑤題材の目標に向けて、自分がどのように学んでいきたいかの見通しをもたせていく取組。	
保健体育	③、⑤	③技能の獲得や作戦を立てる場面で、互いにポイントとなる点を伝える場面を設定する取組。 ⑤単元や1時間で何を身に付けてほしいのかを示し、先を見据えた目標を持たせる取組。	
特別の教科 道徳	④、⑦	④補助発問の工夫をし、根拠を明らかにさせる取組。 ⑦自分自身について考える時間を15分は取る取組。 ④・⑦ポートフォリオを活用する取組。	
特別支援学級	⑤、⑥	⑤単元ごとにつけたい力を明確にして、目標を細かく設定させるとともに、毎授業で目標を確認する。 ⑥授業だけでなく、家庭学習の習慣をつけ、基礎学力の定着を図る。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組

- | | |
|--------------------------|---|
| ・「じりつ=自立・自律」
できる生徒の育成 | ・キャッチフレーズ「じりつ=自立・自律」を掲げ、主体的に考え、行動できるように取り組む。 |
| ・5分前行動2分前着席 | ・授業や集会の開始5分前には移動をし、2分前には着席・整列完了して待機するように普段から徹底する。 |
| ・無言移動、無言待機、 | ・全校朝会や各種集会、避難訓練等において、移動時及び整列時には無言集合、無言移動、無言待機を普段から徹底している。清掃の時間を「自分の心を磨く時間」と捉え清掃し、日々の反省会で振り返りをする。 |
| ・授業への取組 | ・授業で、学習課題を黒板やプリントに記入し、本時の「めあて」を可視化する。
・定期テスト前の補充学習や質問教室を実施する。 |
| ・ICTの活用 | ・積極的に全教科でICTを活用し、生徒に効果的な学習を展開する。 |
| ・キャリア教育の充実 | ・近隣の高校や高等技術専門校の体験入学や聖学院大学との交流、1学年では、職業講演会において実際に社会で活躍している人の話を聴いて将来についての考えを深める。 |
| ・道徳教育の充実 | ・道徳の授業の曜日を学年で固定したり、ポートフォリオを全校で取り入れたりして、統一した授業を行う。 |
| ・小学校との連携 | ・3学期に小学生の中学校見学会、出前授業を実施する。
・小学6年生の卒業時に課題（算数）を出し、入学後、復習する。 |
| ・人権教育の充実 | ・共生社会の実現を目指し、性の多様性への理解や、男女平等の精神を養う支援を行う。 |
| ・安全教育の充実 | ・各学期に避難訓練を行い、自然災害時に命を守るための適切な行動をとることができるよう指導を行う。
・自転車通学者のヘルメット着用義務化と、自然災害等に備えた防災頭巾の常備を100%とする。 |

家庭教育との連携

・面談の実施	・夏休みは1、2年生で2者面談もしくは3者面談、3年三者面談、11月は全校三者面談を実施する。
・通信の発行	・定期的な学校だよりの発行を行う（月に1度）。 ・学年通信、進路通信を発行する。 ・HPの計画的かつ積極的な更新を行う。
・家庭学習の習慣化	・定期テスト前の個人計画と実施を毎日担任が把握・確認し、家庭学習の習慣化や自ら学ぶ姿勢を育む。 ・各家庭に「シラバス」を周知する（4月学校配信メールにて）。
・情報モラル	・家庭でスマートフォン、インターネット使用のルールを決定し、学校へ提出してもらう。長期休業中に返却し、意識させる。